

温泉分析書

環分福第08184号

1. 申請者 住所 福島県相馬郡新地町谷地小屋字樋掛田 30 番地
氏名 新地町長

2. 源泉名及び湧出地 源泉名 新地駅前温泉
湧出地 福島県相馬郡新地町谷地小屋字舩形地内

3. 湧出地における調査及び試験成績

- (1) 調査及び試験者 株式会社 新環境分析センター 高宮 和宏
(2) 調査年月日 平成 29 年 8 月 21 日
(3) 試験年月日 平成 29 年 8 月 21 日
(4) 泉温 28.1℃ (調査時における気温 25℃)
(5) 湧出量 482 ℓ/min (自然湧出掘削自噴動力揚湯)
(6) 知覚的試験 微黄褐色澄明、微弱硫化水素臭、弱収斂味である。
(7) 水素イオン濃度 pH 7.6
(8) 電気伝導率 35.0 mS/m (25℃)
(9) ラドン (Rn) 5.0 Bq/kg 未満
(ゲルマニウム半導体検出器による定量)

4. 試験室における試験成績

- (1) 試験者 株式会社 新環境分析センター 土田 浩之
(2) 分析終了年月日 平成 29 年 8 月 31 日
(3) 知覚的試験 微黄褐色澄明、無臭、弱収斂味である。
(採水 24 時間後)
(4) 密度 0.9985 g/cm³ (20℃/4℃)
(5) 水素イオン濃度 pH 7.63
(6) 蒸発残留物 334.5 mg/kg (乾燥温度 180℃)

5. 本水 1 キログラム中に含有する成分、分量及び組成

(1) 陽イオン成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル (mval%)	(2) 陰イオン成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル (mval%)
水素イオン H ⁺	<0.1	—	—	ふっ化物イオン F ⁻	0.2	0.01	0.26
リチウムイオン Li ⁺	<0.1	—	—	塩化物イオン Cl ⁻	4.4	0.12	3.12
ナトリウムイオン Na ⁺	86.3	3.76	95.69	臭化物イオン Br ⁻	<0.1	—	—
カリウムイオン K ⁺	3.8	0.10	2.48	よう化物イオン I ⁻	<0.1	—	—
アンモニウムイオン NH ₄ ⁺	<0.1	—	—	亜硝酸イオン NO ₂ ⁻	<0.1	—	—
マグネシウムイオン Mg ²⁺	0.3	0.02	0.63	硝酸イオン NO ₃ ⁻	<0.1	—	—
カルシウムイオン Ca ²⁺	0.8	0.04	1.02	水酸イオン OH ⁻	<0.1	—	—
ストロンチウムイオン Sr ²⁺	<0.1	—	—	硫化水素イオン HS ⁻	<0.1	—	—
バリウムイオン Ba ²⁺	<0.1	—	—	硫酸水素イオン HSO ₄ ⁻	<0.1	—	—
アルミニウムイオン Al ³⁺	<0.1	—	—	チオ硫酸イオン S ₂ O ₃ ²⁻	<0.1	—	—
マンガンイオン Mn ²⁺	<0.1	—	—	硫酸イオン SO ₄ ²⁻	7.4	0.15	3.88
鉄(II)イオン Fe ²⁺	0.2	0.01	0.18	りん酸水素イオン HPO ₄ ²⁻	3.0	0.06	1.57
鉄(III)イオン Fe ³⁺	—	—	—	メタ亜硫酸イオン AsO ₂ ⁻	—	—	—
銅イオン Cu ²⁺	<0.1	—	—	炭酸水素イオン HCO ₃ ⁻	221.5	3.63	91.17
亜鉛イオン Zn ²⁺	<0.1	—	—	炭酸イオン CO ₃ ²⁻	<0.1	—	—
				メタけい酸イオン HSiO ₃ ⁻	—	—	—
				メタほう酸イオン BO ₂ ⁻	—	—	—
陽イオン 計	91.4	3.93	100	陰イオン 計	236.5	3.97	100

(3) 非解離成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
メタけい酸 H ₂ SiO ₃	140.7	1.80
メタほう酸 HBO ₂	0.5	0.01
メタ亜硫酸 HAsO ₂	<0.1	—
非解離成分 計	141.2	1.81

溶存物質 (ガス性のものを除く)

469.1 mg/kg

(4) 溶存ガス成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素 CO ₂ (遊離炭酸)	22.0	0.50
遊離硫化水素 H ₂ S	<0.1	—
溶存ガス成分 計	22.0	0.50

成分総計

491.1 mg/kg

(5) その他の微量成分

総水銀 Hg	不検出	(0.0005 mg/kg 未満)
鉛 Pb	不検出	(0.005 mg/kg 未満)
カドミウム Cd	不検出	(0.001 mg/kg 未満)
総クロム Cr	不検出	(0.005 mg/kg 未満)
総砒素 As	不検出	(0.001 mg/kg 未満)

6. 泉質

単純温泉 (低張性弱アルカリ性低温泉)

平成 29 年 8 月 31 日

登録番号 福島第 3 号

福島県郡山市喜久田町卸一丁目 104 番地 1

株式会社新環境分析センター

福島県分析センター

センター長 薄井 孝之



温泉分析書別表

1. 源 泉 名 新地駅前温泉
2. 源 泉 所 在 地 福島県相馬郡新地町谷地小屋字舂形地内
3. 温 泉 分 析 申 請 者 福島県相馬郡新地町谷地小屋字樋掛田 30 番地
新地町長
4. 泉 質 単純温泉（低張性弱アルカリ性低温泉）

5. 分析結果による療養泉分類に基づく禁忌症、適応症等は環境省自然環境局通知（平成 26 年 7 月 1 日）環自総発第 1407012 号によれば次のとおりである

【浴用の禁忌症】

一 般 的 禁 忌 症 病気の活動期（特に熱のあるとき）、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性憎悪期

泉 質 別 禁 忌 症 該当項目なし

【浴用の適応症】

一 般 的 適 応 症 筋肉又は関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、ストレスによる諸症状、病後回復期、疲労回復、健康増進

泉 質 別 適 応 症 自律神経不安定症、不眠症、うつ状態

入浴上の注意

浴用の方法及び注意

温泉の浴用は、以下の事項を守って行う必要がある。

1. 入浴前の注意

- (ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。
- (イ) 過度の疲労時には身体を休めること。
- (ウ) 運動後 30 分程度の間は身体を休めること。
- (エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1 人での入浴は避けることが望ましいこと。
- (オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。
- (カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。

2. 入浴方法

- (ア) 入浴温度 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。
- (イ) 入浴形態 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。
- (ウ) 入浴回数 入浴開始後数日間は、1 日当たり 1~2 回とし、慣れてきたら 2~3 回まで増やしてもよいこと。
- (エ) 入浴時間 入浴温度により異なるが、1 回当たり、初めは 3~10 分程度とし、慣れてきたら 15~20 分程度まで延長してもよいこと。

3. 入浴中の注意

- (ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。
- (イ) 浴槽から出るときは、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。
- (ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。

4. 入浴後の注意

- (ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び 30 分程度の安静を心がけること（ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質（例えば酸性泉や硫黄泉等）や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよいこと）
- (イ) 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。

5. 湯あたり

温泉療養開始後おおむね 3 日~1 週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。

6. その他

浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。

（注）この別表は温泉法第 18 条による掲示に必要な参考資料となるものである。

平成 29 年 8 月 31 日

登録番号 福島第 3 号

福島県郡山市喜久田町卸一丁目 104 番地 1

株式会社新環境分析センター

福島県分析センター

センター長 薄井 孝之